



## Question\_no.1

校舎・施設の老朽化に伴う大規模改修工事や建て替え工事、耐震工事など計画的に行われていると思われますが、今後の予定等明らかに出来ることがあれば伺いたい。

## Answer\_no.1

本市では、安全で安心な学校施設の整備を図るため、平成19年度から本格的に耐震化事業に取り組んでいます。

市立学校は、小・中学校193校のほか、特別支援学校や幼稚園を含め、213校あり、そのうち170校が現在の耐震基準改正以前に建築されているため、必要な耐震性能を満たしているかを確認するために耐震診断を行なっています。

この170校のうち、耐震化優先度調査で優先度の高いと判断された学校については、今年度中に耐震診断を終え、診断の結果、大規模な地震に対して、倒壊等の危険性が高い施設（Is値0.3未満の校舎等）は、平成24年秋を目指して耐震化を図ることとしています。

診断を終えた学校については、その結果を市のHPに掲載していますし、来年度補強工事が決まった学校には、学校ごとに工事箇所や予定期等をお知らせするようにしています。

また、経年により老朽化した校舎等の改修については、内部環境の改善を目的とした大規模改修工事を耐震補強工事が完了した校舎から順次取り掛かる予定です。

なお、耐震診断の結果、補強が不可能又は困難な校舎等については、建て替えを行なう予定であり、今年度は、大蔵小学校の校舎の一部改築に着手し、来年度からは、大里柳小学校の建替えに着手する計画です。

## Question\_no.2

教室の冷房化については、毎年のように要望をしている。本年度のように、夏場の高温度化傾向は続くと思うが、教育委員会としての対策を伺いたい。

## Answer\_no.2

現在、管理諸室のほか、プレハブ教室やコンピュータ室、特別支援学級、騒音対策が必要な教室等には空調を設置しております。

その他の普通教室の冷房化については、  
①稼動させる時期に長期の夏休みがあること  
②小中学校の全普通教室に空調を設置するためには多額の費用が必要なこと  
③9政令市の中で、普通教室に空調を設置及び設置中の自治体が4都市にとどまっている。

状況ではあるが、教育委員会としては、今後の重要な検討課題として認識しており、他都市の状況を見守るとともに、国に対しては設置に当たっての補助基準等の見直しについて要望していきたいと考えています。

## 教育懇談会

北九州市PTA協議会（以下「市P協」）では、学校の環境整備や学力向上に向けての教職員の人員配置など様々な問題に対し、PTA会員の皆さんを代表して、北九州市教育委員会（以下「市教委」）と年2回教育懇談会を開催しています。

市P協からは、市P協会長をはじめ主な役員、市教委からは教育長をはじめとする幹部職員が出席し、小中学校、特別支援学校の意見や要望事項について話し合いを行っています。

今回は、平成23年2月18日にリーガロイヤルホテルにおいて開催され、18の項目について熱心に意見交換を行った一部を紹介します。

## Question\_no.3

子どもの読書活動推進事業において、市内モデル7校に配置された専任学校図書館職員の全校配置もしくは、中学校区単位での配置をお願いしたい。

## Answer\_no.3

本市では、平成22年度より、「学校における読書活動推進モデル事業」を始めました。

これは、市内の各区に一つの中学校区をモデル校区として、1中学校区につき1名の学校図書館職員（嘱託員）を配置する事業です。7名の学校図書館職員は、司書資格をもっています。

この事業では、それぞれのモデル校で募集した学校図書館ボランティア（ブックヘルパー）が学校図書館職員とともに業務に当たっており、各学校の学校図書館を常時開館できるよう努力しているところです。

今後は、事業の効果を検証しながら、少しずつ学校図書館職員の配置数を増やすことなどを検討していきたいと考えています。

## Question\_no.4

児童・生徒の通学時間の問題や重度化・多様化傾向への対応等の問題を総合的に解決するために、門司地区に特別支援学校の新設をせつにお願いしたい。

## Answer\_no.4

これまででも、児童生徒の通学時間の問題や重度化・多様化傾向への対応については、スクールバスの増車や看護師等の配置など、関係する課が連携しながら学校の実態に応じて対応を行なってきました。

今後の特別支援学校の整備については、「子どもの未来をひらく教育プラン」（平成21年11月策定）に述べているように、特別支援学校における教育環境の整備という視点から、総合的に検討することとしています。

## Question\_no.5

部活動の在り方については、検討委員会の中で色々と討議がされていると思いますが、部活動が継続して存続できるような体制づくりをお願いしたい。

## Answer\_no.5

学校教育における部活動は、生徒の学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養に資するものであり、本市には現在運動部と文化部を合わせて700を超える部活動に約18,000名の生徒が参加し、約1,300名の教員が指導に当たっています。

教育委員会では、平成22年3月に指導者向けの手引書「部活動ハンドブック」を作成し、その中で望ましい部活動の姿、活性化を、

- ①より多くの生徒が入ることの出来る部活動
  - ②指導者が余裕と意欲をもって指導できる部活動
- と定めました。

これまででも部活動の活性化や指導力の向上等を目的として、専門的技術指導能力を有する者が指導にあたる部活動外部講師制度を導入しており、平成22年5月1日現在で、運動部146名、文化部43名、合計189名の外部講師にご活躍いただいている。また平成16年度からは、近隣の学校が合同で部活動を行う複数校合同部活動事業を実施しており、平成22年度は4種目16学校（サッカー部4校、バレーボール部4校、柔道部2校、合唱部6校）が実施したところです。

なお、教職員の配置については、人事異動は全市的視野にたち、各学校の状況や教職員定数の変動、教科バランスや部活動の状況等を総合的に勘案しながら行なうことが必要であることから、部活動だけを優先した教員配置を行うことはできませんが、今後も適切な教員配置を行なっていきたいと考えています。

今後も外部講師の活用や合同部活動の実施等を通じて、部活動の維持、活性化に努めてまいります。



## いろいろな危険からお子さまをお守りする

### ◆本制度の特徴◆

- ①PTAを窓口とした大口団体割引により掛金が非常に割安です。
- ②「損害保障」「賠償保障」「育英費用保障」の3つの保障でバックアップ。
- ③医師・ヘルスカウンセラーによる健康相談が24時間（フリーダイヤル）無料で受けられます。

### 問い合わせ先

**北九州市PTA安全互助会  
小中学生総合保障制度事務局**

〒802-0004 小倉北区鍛冶町1-10-10 大同生命ビル10F  
TEL 093-511-3821(引受保険会社AIU保険会社北九州支店)

中小  
学  
生  
  
総  
合  
保  
障  
制  
度

### P協新聞モニターの声

関心をもった記事は？ どういう点で？

「いんたびゅう」が12人…北九州出身と知り、身近に感じた。子どもと一緒に記事を読んだ。同世代の活躍に元気づけられる。行動力に感心。

「各校PTA・学校の話題」が10人（「僕たちの、私たちの給食」の4人を含む）…各校の取り組みが参考になる。他校の取り組みを知るのは面白い。特別支援学校の給食に興味があった。教育現場も段階食を実施していることを知った。

「伊藤会長の記事」が6人…伊藤会長の人柄、会長になった経緯を知り親近感をもった。会費の値上げは他市と比べて高すぎないことを知った。

「九P大会」が3人…わかりやすく説明、表示されていた。

「環境について考え方」が3人…子どもと一緒に考え、活動できる内容。書くことで心に残ることがあると思う。

その他が1人…新聞について。

#### ◎全体としての意見

海外、全国で活躍している方をもっと紹介してほしい。読みやすくわかりやすかった。小・中学校の身近なニュースがもう少しあれば、楽しめる紙面になると思う。各学校の行事やPTA活動がよくわかり楽しく読んだ。

#### ◎今後、取り上げてほしい内容、または望むこと

各学校で一番力をいれていること、特徴ある委員会活動。言葉の特集。今しなければいけないPTA活動の最重要課題。PTA協議会の具体的な動き、簡単な組織図。各校のPTA役員の選考方法や問題点。PTAと地域が協力して行なっている活動。

#### ◎PTA活動・子どもについての意見

共働きの家庭も多く、子どもたちの体験の機会が減っている。地域や学校をあげて人や物への体験をふやせばいいなと思う。PTA活動の失敗談。PTA協議会の考え方や取り組み。

掲載できなかつたご意見も含め、モニターの皆様の声を今後の参考にさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

### みんなでいじめを考えよう! ～「いじめ防止標語コンテスト」応募結果～

北九州市PTA協議会では、福岡県P連・福岡市P連と共同していじめ防止に向けた活動の一環として、AIU保険会社の協賛により、「いじめ防止標語コンテスト」を平成22年度から実施しています。

児童・生徒が、自分たち自身でいじめ防止に向けた標語を考えるこのコンテストに応募することで、いじめを許さない意識を育む契機になればと考えています。

平成22年度は、市内の小中学校から4,245点もの作品が応募され、小学生部門、中学生部門のそれぞれから最優秀賞1、優秀賞2、P協推薦賞4の計14作品が選ばれました。

今回は、小中部門の最優秀作品をそれぞれ1作品紹介いたしますので、各校において様々な場面でぜひご活用ください。

#### 小学生の部

まずなの芽  
それを育てる友の声  
清水小学校  
5年 筒井天音

#### 中学生の部

入ればみんな裏の顔  
沼中学校  
2年 吉田佑樹

裏サイト